まべちだより

令和５年
７月
vol.１３３

今号の話題
- 重要水防箇所合同巡視を実施しました
- 夏休み前の安全利用点検を実施しました
- 馬淵川水系水防工法訓練を実施しました
- アスネットねぎし推進委員会のみなさんが河川清掃活動をしました

重要水防箇所合同巡視を実施しました

馬淵川水系洪水予報・水防連絡会では、毎年、本格的な出水期を前に、行政機関と水防団等が、出水の際に特に注意を要する箇所を巡視する「重要水防箇所合同巡視」を行っています。今年は、6月30日（金）に各関係機関27名の参加により実施しました。

合同巡視をすることにより、出水時に越水や漏水などの発生が想定される箇所の情報共有ができ、効率的な堤防の点検や危険の発見につながります。また、迅速な水防活動を行うことができるようになります。これからも、洪水被害の防止・軽減につながる活動を継続していきます。

巡視の様子





夏休み前の安全利用点検を実施しました

夏休み中は馬淵川河川敷の公園やグラウンドなどの利用が増えるため、７月４日（火）に夏休み前の安全利用点検を実施しました。

公園を管理している八戸市と合同で施設に危険箇所がないかチェックを行いましたが、大きな異状はありませんでした。今後も皆さんが安全に利用できるよう、点検を定期的に実施します。

点検の様子





水防工法訓練を実施しました



今年も全国各地で水害が発生しており、水防活動は洪水被害の防止・軽減のために、迅速かつ的確な対応が不可欠です。

馬淵川水系洪水予報・水防連絡会では、水害の発生に備えて水防技術の向上を図るため、7月9日（日）に大橋（通称ふれあい橋）長苗代側河川敷で水防工法訓練を実施しました。

訓練には、八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部、八戸市消防団及び各関係機関、防災エキスパートの総勢146名が参加し、ロープワーク、土のう作り、シート張り工、月の輪工を行いました。

当日は蒸し暑さに加え、途中から雨も降り出すという天候の中での開催となりました。訓練に参加された皆様、大変ありがとうございました。

ロープワーク・・・水防活動を行うために必要となる縄の結び方です。数ある結び方から、かみくくし、ふな結び、イボ結び、もやい結びの4種類を実践しました。





土のう作り・・・土のう作りは水防工法作業を行うための必要な作業です。土のう袋に土砂を入れてひもで口を縛ります。





シート張り工・・・増水した川の水の流れにより堤防の表側（川側）が崩れ始めた場合、決壊を防ぐために堤防を部分的にシートで覆う工法です。





月の輪工・・・堤防の裏側（住宅側）に漏水があった場合に、土のうを積んで水の圧力を弱め、堤防の決壊を防ぐ工法です。





河川清掃活動のご紹介

7月1日（土）、アスネットねぎし推進委員会（根岸地区連合町内会）のみなさんが、馬淵川左岸河口から馬淵大橋までの区間約3kmをボランティアパトロール（河川清掃活動）しました。





アスネットねぎし推進委員会のみなさん、ありがとうございました!!



↑は集まったゴミの一部です。最終的にゴミ袋で4つにもなったそうです。

〒039-1103　青森県八戸市長苗代二丁目5番8号
http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/syutu/hachikawa/
TEL：0178-28-2626
E-mail：thr-aomori01@mlit.go.jp
発行者：国土交通省 青森河川国道事務所 八戸出張所

事務所SNSは
こちら→

青森河川国道
事務所Twitter

青森河川国道
事務所HP

八戸出張所
HP